

13 ひきこもり対策総合支援事業

拡充

(事業目的) 当事者本人及び家族の居場所づくりのため、市町が設置する相談窓口や居場所等の支援体制の充実を前提としつつ、身近な市町での支援に抵抗感を持つひきこもり状態にある者に対して、コミュニケーションツールとして利用度の高いWeb会議アプリ（Zoom等）を活用した中間的・過渡期的なオンライン居場所を設置し、市町が行うひきこもり支援施策への広域的な支援を行う。ひきこもり状態にある者における女性割合の増加を踏まえ、女性専用のオンライン居場所を新設するとともに、オンライン居場所からリアルな居場所への移行にあたり、オンライン居場所の延長線としてのオフラインでの集まり（対面開催：4半期に1回程度）を支援し、オンライン居場所の多様化を図る。

イン
プット

(事業費) 1,790千円

アクティ
ビティ

- 設置数 10箇所（R5当初同数）
 - ・[新]うち、女性専用のオンライン居場所 2箇所
 - ・[新]うち、オフライン対応 3箇所
- 支援対象 ひきこもり状態にある者及び家族
- 支援内容 Web会議アプリ導入費用、ファシリテーター人件費、旅費 等

アウト
プット

①オンライン居場所開催数

アウト
カム

- ①オンライン居場所参加者数
- ②市町居場所の設置数